

株主の みなさまへ

第66期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

医療界に信頼され
選ばれる企業をめざす

品質・サービス **No.1** へ



株式会社ビー・エム・エル

証券コード：4694



医療界に信頼され 選ばれる企業をめざす

目次

- 1 財務ハイライト
- 2 株主のみなさまへ
- 3 営業の概況
- 5 連結決算の概要
- 7 特集
- 9 株式の状況
- 10 会社概要

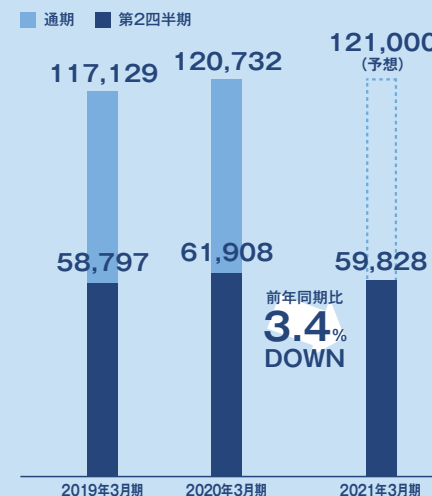
株主のみなさまへ

平素は、格別のご高配を賜り、
厚く御礼申し上げます。
ここに、第66期中間報告書
(2020年4月1日~2020年9月30日)を
お届けするにあたり、
ご挨拶申し上げます。

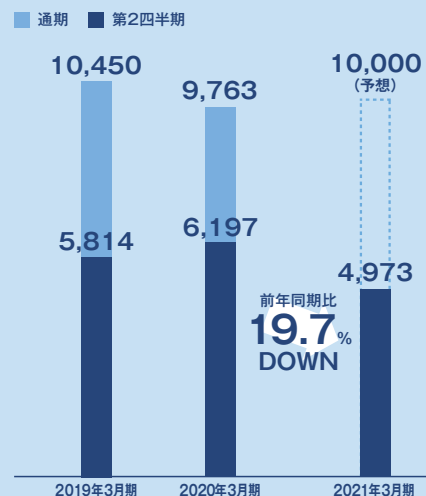


財務ハイライト

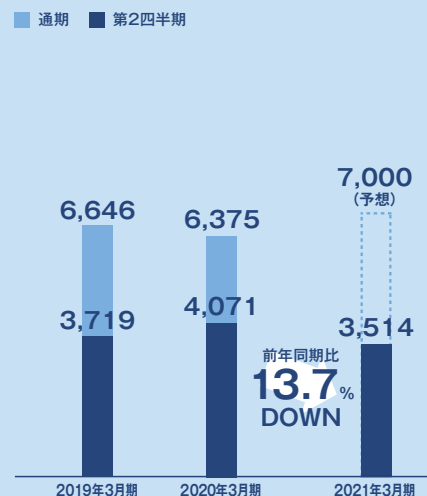
売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (百万円)



当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響から持ち直しの動きがみられるものの依然として厳しい状況にあります。雇用情勢は弱い動きとなっている中で、雇用者数などの動きに底堅さもみられ、企業収益につきましては、大幅な減少が続いておりますが業況判断は改善の動きがみられます。

このような状況のもと受託臨床検査業界におきましては、新型コロナウイルスの感染拡大により患者の受診控えが発生していましたが、緊急事態宣言の解除後は徐々に持ち直しの動きがみられます。しかしながら同業者間での激しい業者間競争が続いていることから、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。


こうした中で、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高59,828百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益4,973百万円（前年同期比19.7%減）、経常利益5,275百万円（前年同期比17.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,514百万円（前年同期比13.7%減）となりました。

第7次中期経営計画（2018年度~2020年度）の最終年度にあたり、引き続き第6次中期経営計画よりグループビジョンとしております『医療界に信頼され選ばれる企業をめざす』を継続し、品質・サービス向上に取り組んでまいります。

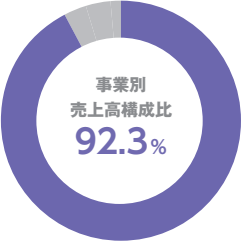
株主のみなさまには、一層のご指導とご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

代表取締役社長 近藤 健介

営業の概況



臨床検査事業



事業別
売上高構成比
92.3%

事業内容

- **臨床検査** ルーチンから特殊検査まで
- **治験検査** 4,000項目を超える検査を実施しています。

業績
連結
売上高

55,226

 百万円

■ 通期

110,113

■ 第2四半期

56,673

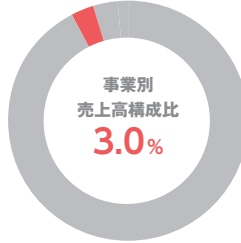
前年同期比
**2.6%
DOWN**

2020年3月期 2021年3月期

新型コロナウイルスの感染拡大により、受託患者数・検査数量ともに前年同期比で減少しました。これにより、売上高は2.6%の減収となりました。しかしながら、緊急事態宣言が解除された6月以降は回復傾向がみられています。



食品検査事業等



事業別
売上高構成比
3.0%

事業内容

- **食品検査** 食環境の総合的な衛生
- **食品衛生コンサルティング** 管理、消費者の健康と
- **環境検査** 食の安全を支援しています。

業績
連結
売上高

1,796

 百万円

■ 通期

4,908

■ 第2四半期

2,293

前年同期比
**21.7%
DOWN**

2020年3月期 2021年3月期

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け取引先の営業自粛等に伴い食品コンサルティング、腸内細菌検査等が減少いたしました。これらにより、売上高は前年同期比21.7%の減収となりました。



医療情報システム事業



事業別
売上高構成比
3.5%

事業内容

- **電子カルテシステム** 診療所版電子カルテ「クオリス (Qualis)」と「メディカルステーション (MS)」の販売・保守を行っています。
- 開発・販売
- 保守サービス

業績
連結
売上高

2,100

 百万円

■ 通期

4,202


■ 第2四半期

2,197

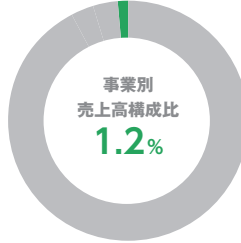
前年同期比
**4.4%
DOWN**

2020年3月期 2021年3月期

医療情報システム事業の売上高は前年同期比4.4%の減収となりました。クラウド版電子カルテにつきましては、上市できるよう開発を進めています。



その他事業



事業別
売上高構成比
1.2%

事業内容

- **調剤薬局** 調剤薬局事業と高精度検査で医薬品開発をサポートしています。
- **SMO**

※ SMO: 特定の医療機関（治験実施施設）と契約し、その施設に限定して治験業務を支援する機関。

業績
連結
売上高

705

 百万円

■ 通期

1,507

■ 第2四半期

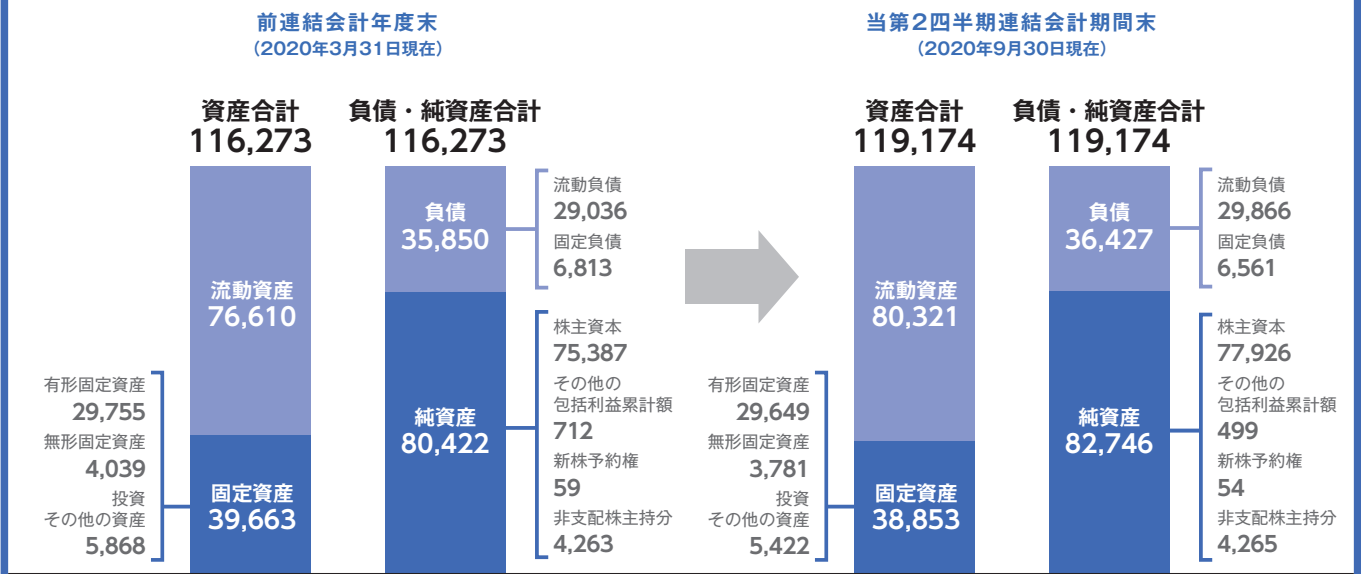
744

前年同期比
**5.2%
DOWN**

2020年3月期 2021年3月期

調剤薬局事業の売上が外来患者数の減少や、診療報酬（薬価）の引き下げの影響を受けたこと、さらにSMO事業の売上が減少したことにより前年同期比5.2%の減収となりました。

連結貸借対照表の概要 (百万円)



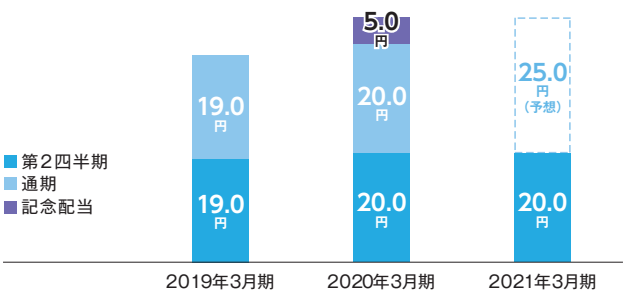
POINT! 資産
流動資産で受取手形及び売掛金が増加したこと等により、119,174百万円（前期末比2,900百万円増）となりました。

POINT! 負債
支払手形及び買掛金が増加したこと等により、36,427百万円（前期末比577百万円増）となりました。

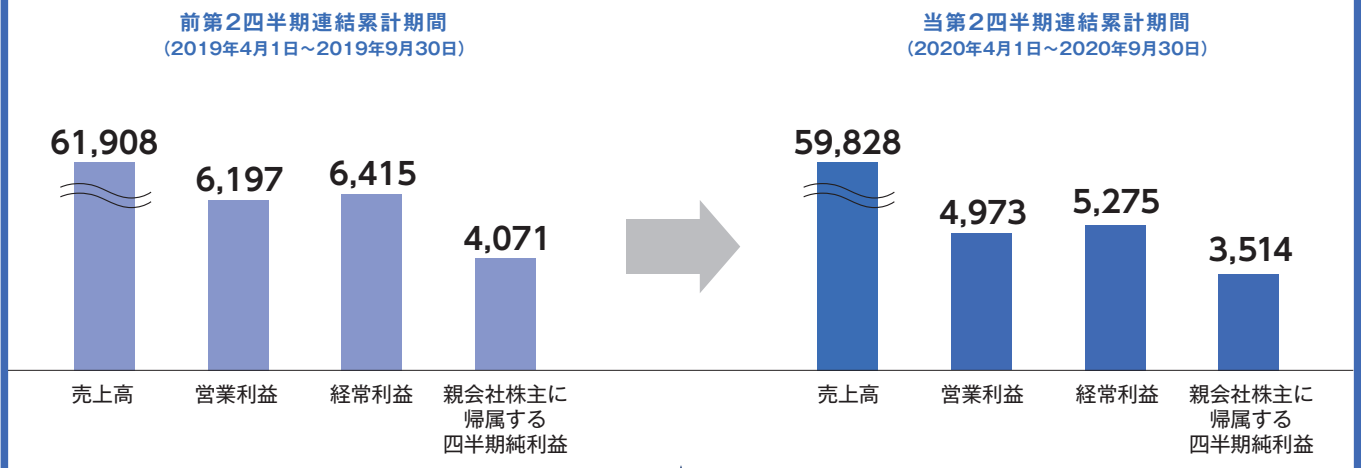
POINT! 純資産
利益剰余金が増加したこと等により、82,746百万円（前期末比2,323百万円増）となりました。

配当について

当社グループは、株主さまに対する利益還元を経営の重要課題の一つと位置付け、安定的な経営基盤の確保と資本利益率の向上に努めるとともに、配当については安定配当の維持・継続を基本方針としつつ、連結業績に応じた配当水準の向上に努めております。なお、当期の中間配当は20円とし、期末配当の25円と合わせて年間では、1株当たり45円の配当となります。

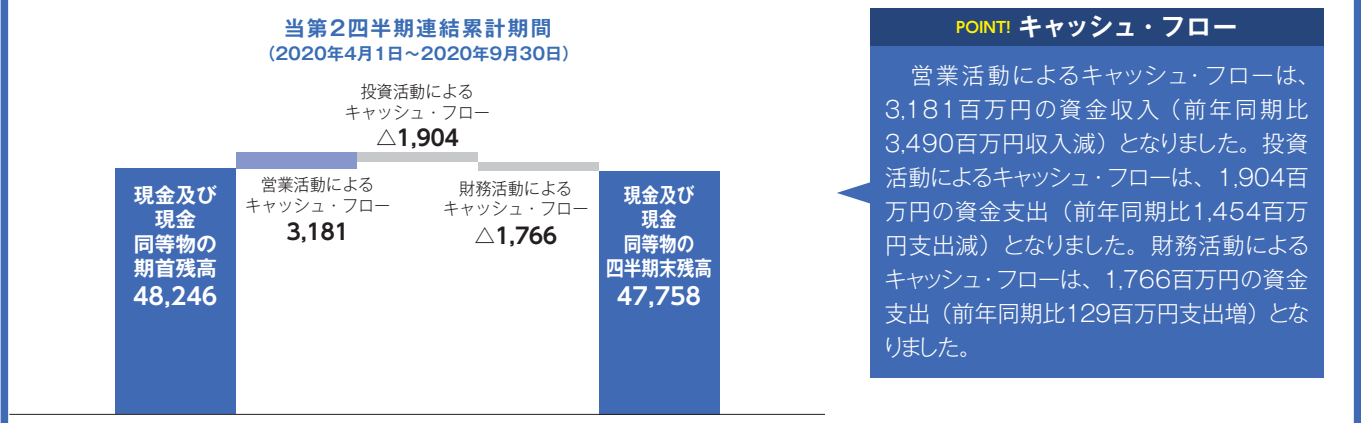


連結損益計算書の概要 (百万円)



POINT! 売上高・営業利益
売上高および、営業利益ともに新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受け減収・減益となりました。しかしながら、緊急事態宣言が解除された6月以降の受託患者数、検査数量は回復傾向がみられます。

連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)



POINT! キャッシュ・フロー
営業活動によるキャッシュ・フローは、3,181百万円の資金収入（前年同期比3,490百万円収入減）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、1,904百万円の資金支出（前年同期比1,454百万円支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、1,766百万円の資金支出（前年同期比129百万円支出増）となりました。

株式会社 ピーシーエルジャパン

当社の連結対象会社の中から、今回は病理・細胞診検査の専門会社であるピーシーエルジャパンをご紹介します。



ピーシーエルジャパンは、埼玉県川越市のBML総合研究所内に基幹ラボであるPCL川越を構えています。



株式会社ピーシーエルジャパンは1986年（昭和61年）に、株式会社ビー・エム・エルの100%出資の子会社として、病理・細胞診検査を専門に受託する登録衛生検査所として誕生しました。病理組織標本作成および細胞診検査は、標本作製を主とする「PCL川越」と、病理検査を主とする「PCL東京」を基幹としつつ、北海道地域には「PCL札幌」、東北地域には「PCL盛

岡」、関西地域には「PCL大阪」、九州地域には「PCL福岡」と、それぞれに拠点を開設しています。地域密着型の体制で全国の医療機関からのご依頼にお応えし続け、いまや病理・細胞診専門の検査所においては、質・量ともに我が国を代表する施設に成長いたしました。

経営理念

ひとつひとつの命への責任感と、明日の医療への使命感が、私たちの推進力です。

病理・細胞診検査は他の検体検査と異なり、直接患者様の生命に関わることから、より高度な精度管理が求められます。ピーシーエルジャパンでは、数多く在籍する質の高い臨床検査技師、細胞検査士のほか、社団法人日本病理学会認定の病理専門医や、日本臨床細胞学会認定の細胞診専門医の協力のもと、誤りを限りなくゼロに近づけるために、以下のような取り組みを行っております。

- ☑ より厳しいチェック体制の確立
- ☑ ITを利用した病理検査システム
- ☑ 新しい検査技術や機器の導入
- ☑ 人為的ミス防止のための自動化の積極的な取り入れ

会社概要

設立：1986年
 資本金：2,000万円
 売上高：649,052万円
 （2019年度）
 従業員数：319名
 （2020年3月時点）

ピーシーエルジャパンの 取得する認定証



CAP認定証



ISO14001認定証



サービスマーク認定証書



日本臨床細胞学会施設認定証

ピーシーエルジャパンは、1993年、CAP*（米国臨床病理医協会）の認定施設となったほか、一般財団法人医療関連サービス振興会の認定を取得し、高水準のクリニカルラボとして高い評価を受けています。

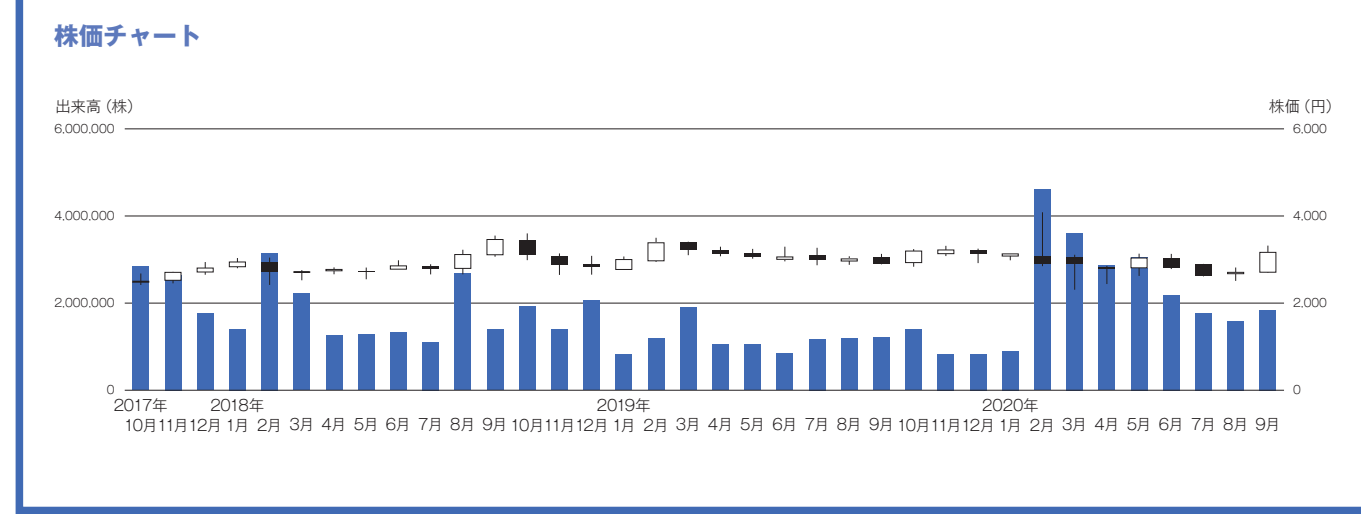
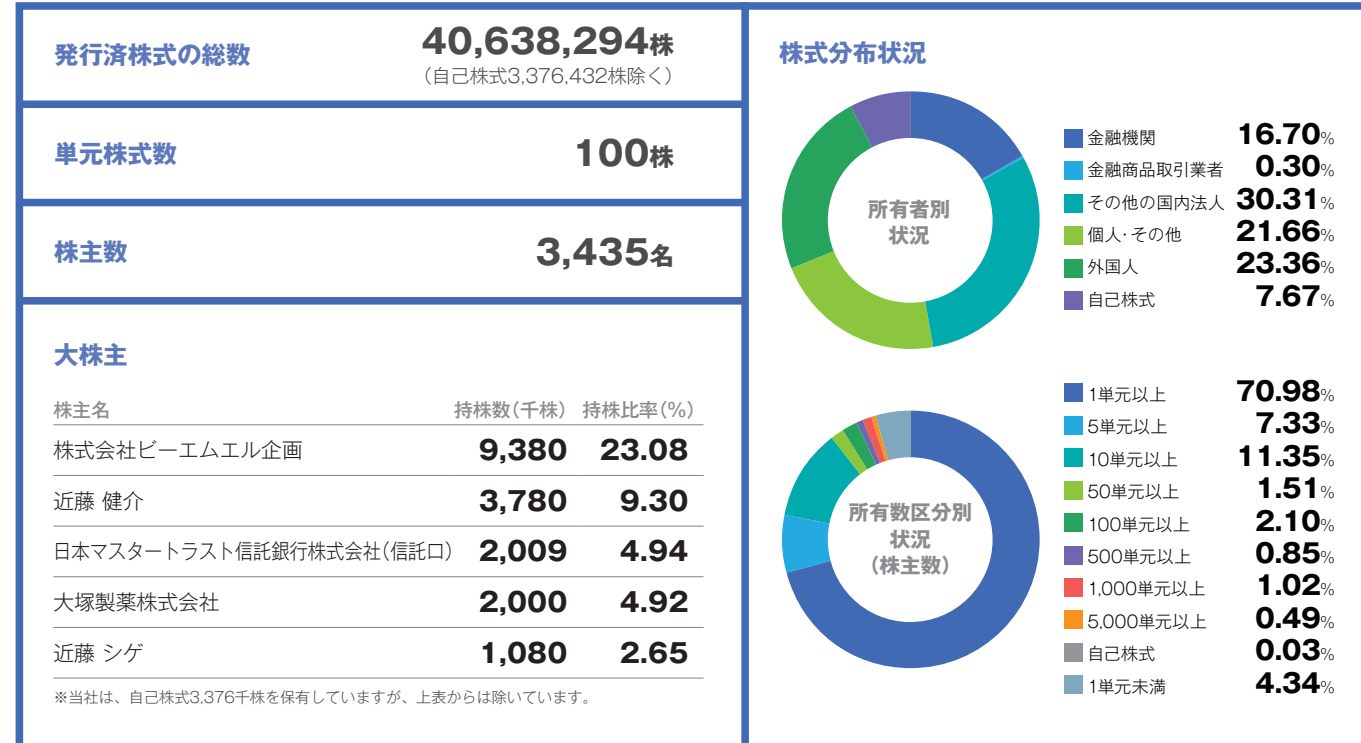
また、2001年2月には、環境の管理システムにかかる国際規格ISO14001の認証を取得いたしました。ピーシーエルジャパ

*CAP: College of American Pathologists

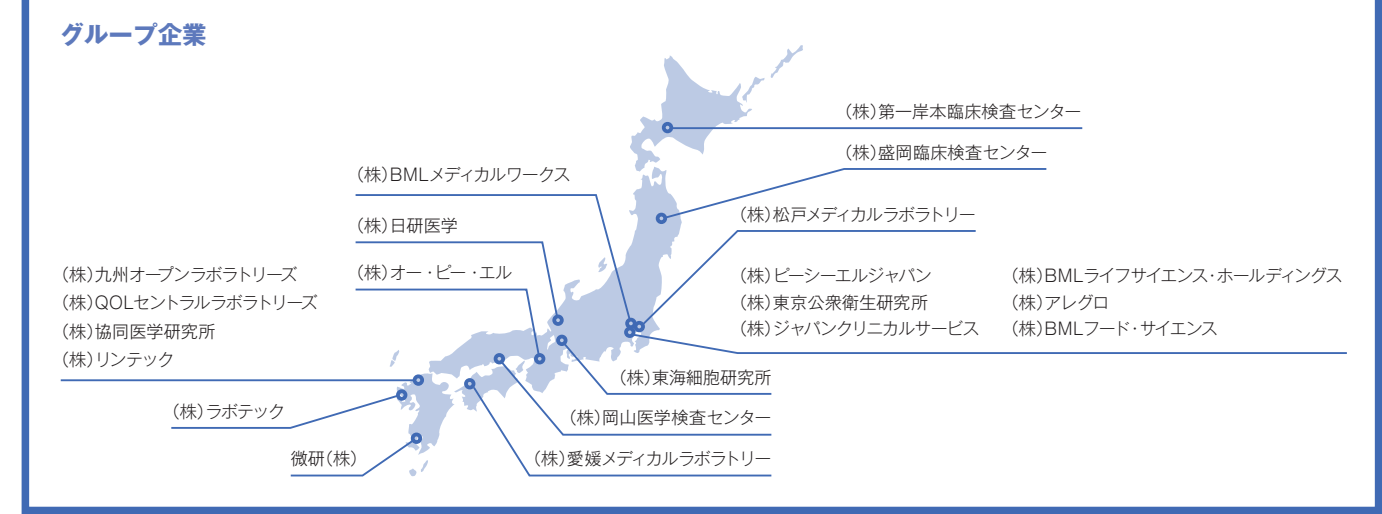
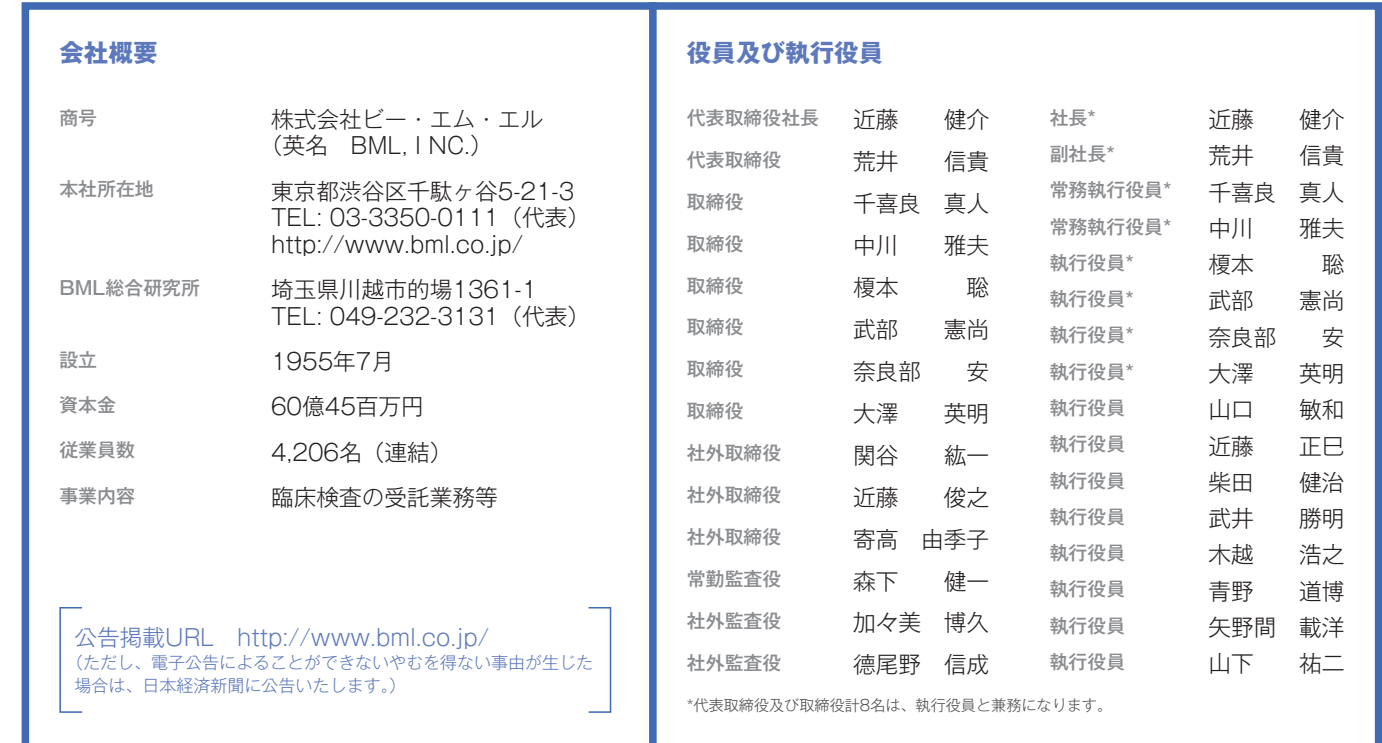
ンは以前から医療関連企業として、環境保全・予防に対する高い意識をもって企業活動を行ってきましたが、当国際規格認証を得て、一層の環境負荷軽減活動を進めてまいります。

これからも、世界最大規模の病理・細胞診の専門センターとして、高度な知識と技術に基づく検査サービスを提供するため、さらなる精度向上に努めてまいります。

株式の状況 (2020年9月30日現在)



会社概要 (2020年9月30日現在)



特殊検査課

HPLC*、GC*などを使用した機器分析を中心に検査を行っています。有機溶剤の代謝物、微量金属関連などの検査を実施しており、血液中のアミノ酸濃度バランスから、現在の健康状態や病気の可能性を評価する検査なども行っています。

※HPLC：高速液体クロマトグラフィー
※GC：ガスクロマトグラフィー



特殊検査課

こんな検査の
役にたっています!!

- 各種有機溶剤代謝物検査
- 微量金属検査
- アミノインデックス®※
がんリスクスクリーニング検査
- アミノインデックス®※生活習慣病
リスクスクリーニング検査

※アミノインデックス®とは血液中のアミノ酸濃度バランスから、現在の健康状態や病気の可能性を評価する検査です。

株主メモ

決算期 3月31日

定時株主総会 6月

基準日 定時株主総会権利行使株主確定 3月31日
株主配当金受領株主確定 3月31日
中間配当金受領株主確定 9月30日

株主名簿管理人 日本証券代行株式会社
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
(〒103-8202)
株式お手続き用紙のご請求をインターネット
でもお受け付けいたしております。
URL <https://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

各種手続のお申出先

未払配当金のお支払い

株主名簿管理人*

住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等

〈証券会社をご利用の場合〉

お取引の証券会社

〈証券会社をご利用でない場合〉

特別口座の口座管理機関である
日本証券代行*

※ 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でも行っております。

(電話お問合せ・郵便物送付先)

日本証券代行株式会社
東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-8620)
0120-707-843 (フリーダイヤル)